

令和5年度 協力学会説明会について

○目的：医療事故調査・支援センターが行う業務に係る協力をいただいている医療系学会、及び看護系学会（略称：協力学会）を対象に、各年度末に一度、「医療事故調査・支援センター」の事業である、「センター調査」及び「再発防止に向けた提言」の現状と今後の進め方について、報告・意見交換を行う。あわせて、医療事故調査・支援センターとしての日本医療安全調査機構の役割へのより一層のご理解を得ることにより、「センター調査」及び「再発防止に向けた提言」がより円滑に進められることを目的とする。

○日時：令和6年3月14日（木）14：00～15：30 Web（Zoom ウェビナー）による

○場所：ビジョンセンター浜松町 Room E（浜松町 TS ビル 6 階）

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-8-14

○参加者：・協力学会：60 学会 88 名

○プログラム

内容	講師
医療事故調査・支援センターの現況 報告	田原 克志 （日本医療安全調査機構 専務理事）
「センター調査」の現状と課題	矢富 裕 （総合調査委員会 委員長 国際医療福祉大学 大学院長）
「再発防止の提言」の現状と課題	松原 久裕 （再発防止委員会 委員長 千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科 教授）
「協力学会」学会協力の現状と今後のあり方について	宮田 哲郎 （日本医療安全調査機構 常務理事）

○内容：

- ・事前に各学会へアンケート調査を実施し、意見等を募った。
- ・宮田常務理事が、アンケートの意見・質問に対してセンターの状況等を説明し共有した。
- ・今後の課題として、提言の普及啓発、周知を強化していくことが挙げられ、学会との連携が重要であると説明された。